



議第 1 号議案

アメリカとイスラエルにイラン攻撃の即時中止を求める決議

アメリカとイスラエルは 2 月 28 日、イランへの軍事攻撃を開始した。住宅や病院、学校など民間施設が連日攻撃され、子どもを含む多くの一般市民が犠牲になっている。

この行為は武力行使の禁止、主権平等の原則を明記した国連憲章を踏みにじるものであり、絶対に許されるものではない。さらに、長期化すれば原油輸送にまで発展し、日本経済や市民生活に影響を及ぼすことになる。

国際的紛争の解決は、平和的手段によることが国連憲章の原則である。イランは核不拡散条約（NPT）の締約国であり、同国の核開発問題は外交交渉で解決されるべきである。アメリカは即時、外交的解決の道に戻るべきである。

加須市は 2011 年 3 月、「加須市平和都市宣言」を制定し、「私たちは、世界唯一の核被爆国として、全世界の人々に核兵器の廃絶を強く求め、戦争や紛争などが繰り返されることがないように、平和の尊さを訴え続けます」と宣言した。

市民の代表機関である加須市議会は、アメリカとイスラエルに対し、イランに対する一切の武力攻撃を即時中止するとともに、交渉による解決に立ち戻るよう強く要求するものである。

さらに、日本政府におかれては平和憲法を持つ唯一の被爆国として、国際社会と連帯し、武力ではなく外交手段を駆使して、対話を基調とした外交努力により、中東地域の現状を早期に事態収束を働きかけることを求めるものである。

以上、決議する。

2026 年 3 月 9 日

埼玉県加須市議会